

(3) 教頭部会

会 長 宮川 昭二（三原中学校）
事務局 宗崎 幸枝（具同小学校）

1. 研究主題 「小中連携をどう進めるか ～子どもたちの学びと育ちの保障をめざして～」

2. 研究経過

月・日	研究のあらまし	会 場	備考
4 / 5（金）	定期総会及び第1回中央区小・中学校教頭会研修会 ・役員選出・組織づくり ・今年度の研修計画	防災センター	全会員
5 / 13（月）	令和6年度幡多地区小・中学校教頭会総会・研修会	四万十市立 武道館	全会員
5 / 21（火）	第2回中央区小・中学校教頭会研修会 ・研究テーマについて ・研修内容について ・幡多地区小中学校教頭会研究大会に向けて ・高知県小中学校教頭会・全国公立学校教頭会 研究大会高知大会に向けて	しまんとぴあ	全会員
7 / 25（木）	第3回中央区小・中学校教頭会研修会 ・幡多地区小・中学校教頭会研究大会のレポート について ・全国公立学校教頭会研究大会高知大会に向けて	防災センター	全会員
7 / 31（木） ～8 / 1（金）	第66回全国公立学校教頭会研究大会（高知大会） 第42回四国地区小中学校教頭会研究大会 第50回高知県小中学校教頭会研究大会	県民文化ホール 他	全会員
8 / 23（金）	第4回中央区小・中学校教頭会研修会 （学校事務職員部を合同開催） ・講話「校務DXと不祥事防止について」 講師：四万十市事務支援室 芝 恵 総括主任 ・グループ演習等	防災センター	全会員
10 / 4（金）	幡多地区小中学校教頭会研究大会（四万十市大会）	中村小学校	全会員
12 / 13（金）	第5回中央区小・中学校教頭会研修会 ・今年度の振り返り ・令和7年度の役割分担について	具同小学校	全会員
2 / 7（金）	第6回中央区小・中学校教頭会研修会 ・今年度の総括 ・来年度の方向性	防災センター	全会員

3. 研修活動

(1) 研究テーマに係る研修

今年度も「小中連携をどう進めるか～子どもたちの学びと育ちの保障をめざして～」をテーマとし、研究を進めてきた。

(2) 研修内容

① 幡多地区小・中学校教頭会研究大会への取組

「学校と地域の連携・協働 ～地域とともにある学校づくり～」

三原小学校 才市美奈教頭先生

「連携教育における教頭の役割」

西土佐中学校 黒田健二教頭先生

どちらの先生も中央区教頭会の代表で発表するということを大事にされ、中央区全小中学校からアンケートを集め、その集計から見えてきたものと自校の取組を比較しながらレポートにまとめ、堂々と発表をされた。他市町村にも参考になる発表となった。

② 全国公立学校教頭会研究大会（高知大会）への参加

今年度は全国教頭会が高知県で開催されたため、昨年度から役員を中心に準備を行ってきた。当日は、全国から教頭先生方が集まり、安藤桃子氏の講演や各県からのレポート発表を聞くことができた。また、いろいろな県の教頭先生方と協議や情報交換を行うことができ、大変有意義な研修の機会となった。

③ 四万十市学校事務職員部との合同研修

講話「校務 DX と不祥事防止について」

講師：四万十市事務支援室 芝 恵 総括主任

芝総括主任から、高知県の状況、全国的な ICT 化の流れなどを踏まえ、校務 DX の可能性についてお話しいただき、学校事務職員と教頭がいくつかのグループに分かれて協議を行った。各校からの取組も聞くことができ、スケジュール管理等、大変参考になった。

これまで当たり前と思っていた方法をもっと効率的に行い、それが業務改善につながるかもしれないということを考えるきっかけとなった。各校での業務改善につなげていく。

4. 今年度の成果（○）と課題（●）

○会の内容を精選し、情報交換を毎回設定することで自校の取組の参考になっている。パソコン業務に役立っている。

●教頭の中には学級担任や授業を受け持つことが多く、また時間的制約等のため参加が難しいという現状がある。今後、参加者数を増やすためには、リモートも視野に入れて会を行う。

●講師を招聘した場を設定できなかった。計画的な研修会を行うためには、年度当初から大まかな案を提示できるようにしていかななくてはならない。

5. 来年度に向けて

- ・旅費の削減、移動時間の削減等を進めるため、何回かは集合研修からリモートによる研修に変更する。
- ・全国の先進的な取組やこれからの教育の方向性などを学ぶため、県外の講師とリモートでつながる研修を入れる。
- ・来年度も中央区の教頭がチームとなり、より一層連携しながら本会を進めていく必要がある。